

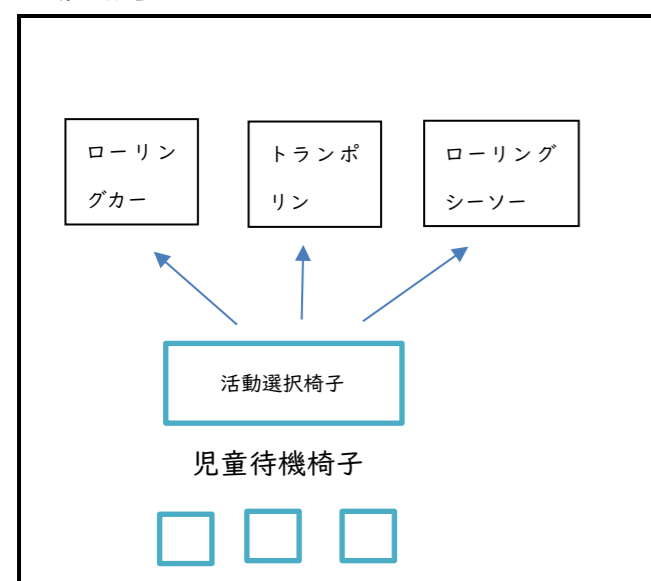
授業づくりシート

領域名 自立活動

4 学年

テーマ	自分の気持ちを伝えよう～代替コミュニケーションの獲得を目指して～	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちをクレーンや手を引っ張ることで伝えることができる。(コミュニケーション) 好きな活動については集中して取り組むことができる。(心理的な安定・環境の把握) 担任からの関わりの中で、くすぐり遊び等好きなことを再度求めることができる。(人間関係の形成) 	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> やりたい活動や遊びたい教具を複数の中から選ぶことができる。(環境の把握) 写真カードを使ってやりたい活動や遊びたい教具を教師に伝えることができる。(環境の把握・コミュニケーション) 見通しをもって、活動に取り組むことができる。(環境の把握・心理的な安定) 	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
遊んでみよう①	・全ての遊びを体験して、好きな活動を知ることができる。	・一人ずつ、遊べる時間を設定して一定の時間遊ぶことができるよう、マンツーマンで遊ぶ。
遊んでみよう②	・遊びたい活動を複数ある写真カードから選び、写真カードを教師に手渡すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 選択をする前段階としては、写真カードを手渡してから、遊ぶという流れを繰り返し取り組む。その取組の中でカードを手渡す→遊ぶという一連の流れがわかるようにする。 活動と写真カードがマッチングできたら写真カードを選択する活動に移行する。A4サイズのカードを使用する。

○場の配置



○教材教具等



○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	○初めの挨拶	・児童椅子を用意して、落ち着いた状態で挨拶ができるようにする。
9:52	○遊んでみよう①	<ul style="list-style-type: none"> 3種類の活動を一つずつ提示して、一人ずつ体験する。 待っている児童と遊んでいる児童の距離感を近く設定して待機児童もこれからの遊び期待感をもてるようにする。 活動する前に教具の写真カードを手渡し、遊ぶようにして「カードを手渡す」「遊ぶ」という一連の流れがわかるようにする。
10:00	○遊んでみよう②	<ul style="list-style-type: none"> 体験した3種類の遊びの写真カードを目の前に置いて、選択できるようにする。 選択したカードを教師に手渡すように促す。 選択した写真カードの遊びを必ず取り組む。 「1・2・3・・・10、おしまい」と遊びの終わりがわかるようにする。
10:10	○終わりの挨拶	・児童椅子を用意して、落ち着いた状態で挨拶ができるようにする。

○成果と課題

○写真カードを手渡すことで好きな活動ができるという一連の流れが理解できた。
 ○いずれの活動も意欲的に児童が活動する様子が見られた。
 ○写真カードの違いを見極める様子が見られた。
 △活動と活動の待ち時間の過ごし方に工夫が必要だった。
 △学級でも実践を広げていくことで、本人のコミュニケーションの幅が広がると考える。